

<クラス会・同窓会だより>

機械工学科47年4月入学 〃 51年3月卒業 同窓会報告

機械51 糸山 貞洋

平成30年8月18日(土) 18時より常盤工業会会館にて表記同窓会を開催しました。参加者は9名でした。幹事の一人に引っ張り込まれてしまった糸山が報告文を書かせていただきます。

会当日、私は「新山口」と名称を変えた旧小郡駅で新幹線を降り、43年ぶりの宇部線のホームで、出発時刻を待っている黄色い電車に対面しました。風が爽やかで、開放感を満喫できる待ち時間でした。

さて、工学部正門前の常盤工業会会館に早目に集まった参加者たちは、卒業以来の工学部構内を今回の同窓会の発起人である山田英巳氏(山口大学工学部元教員)の案内で歩きました。木造だった常盤寮は鉄筋コンクリートに変わり、女子寮も建てられ、様変わりした様子や、構内の木々が大きな幹となっていることに驚きました。そんな中でも当時実験室があったところに、今も同じ建物が残っていて昔話に花が咲き楽しい見学ツアーとなりました。

今や、65歳前後の者が集まれば、話題は年金と病気自慢だそうで、今回集まった9人の中にも既に生死にかかわる手術や入院を経験した者が複数名おりました。しかし彼らも近況報告として病気の経験

を話すにとどまり、そのほか孫の話をする者、仕事での経験を話す者、簡単な近況報告以外はほとんどみんなの話を聞いている者。名刺を出す者もなく、お互いを気遣い、生きている『今』の話を楽しんでいるように見えました。

30数年前にも一度大阪で同窓会を行いました。その時の幹事(中野氏?)から次は頼むよと託された山田さんが一念発起し、色々と骨を折ってくれ、今回の会合を開催することとなりました。前回の引継金を今回使わなかったもので、出席した9人で話をし、引継金に少し足して6万円を常盤工業会に寄付させていただきました。出席されなかった皆様にはご相談しておりませんが、なにとぞご了承ください。

今回都合がつかず出席されなかった人や、ちょっとした気後れで来られなかった方もいると思います。日本人男性の平均寿命は80歳ですが、現在65歳の男性の平均寿命はおおよそ84歳です。昔の知り合いが集まって、話したり元気づけたり気遣ったりする時間はまだまだあります。次回は3年後かな?



生産機械工学科46年卒 同窓会報告

河内山 茂

今年10月17日、古希を迎えた私たち生産機械46年卒同期は紅葉も見え始めた初秋の箱根(大平台)で同窓会を行いました。卒業生40名のうち17名が集まりました。

我々の同窓会が始まったのは、卒業から30年後の2001年で、現常盤工業会会長の藤井輝夫君他宇部在住者が幹事役となりました。2回目は、還暦となった2008年、関東地区在住者の“宇部では遠い”という意見でほぼ真ん中の京都で開催しました。それから5年後の2013年に出身者が多い広島で地元出身者が幹事となり3回目を開催しました。それからまた5年後の今年も関東地区在住者が幹事となり箱根での開催となりました。

関東地区の幹事は5人で、2年くらい前から準備委員会と称した飲み会を定期的に行い、その様子をメールで配信して徐々に盛り上げていきました。1年くらい前からアンケートをとり、一番集まれそうな日を選び、場所は箱根駅伝5区6区のヘアピンカーブのある大平台の嶺南荘としました。遠くは下関から来る人もいることから小田原駅に集合とし、登山鉄道、ケーブルカー、ロープウェイで大涌谷へ。さすが機械屋集団で、景色そっちのけでスイッチバックやケーブルカー、ロープウェイの駆動方式に興味津々でした。大涌谷では食べると寿命が7年延びるといわれる名物の「黒たまご」を全員に配り缶ビールやワンカップで流し込みました。全員寿命が延びたことでしょう。

「箱根登山」の後は待機組を含めて旅館で再会の乾杯！今回は卒業以来という顔合わせもあり、事前

に「仕事遍歴」「趣味・ボランティア活動」「子供・孫自慢」「健康維持の極意披露」「病気遍歴、闘病生活」などをメールで発信してもらっていたので、当日各人の挨拶時は早々と質問攻勢。特にテニス大会で全国を飛び回っている島田君、絵画展に定期的に出展している坂井君は質問攻めでした。その他はやはり闘病経験や健康維持が主な話題でした。また各自学生時代の写真を持参してもらっていたので、すっかり学生時代にタイムスリップしてあっという間に楽しい時間が過ぎました。集合写真を撮ったあとは1室に集まり部屋飲み。上機嫌になった元常盤寮寮生が最後に「寮歌」を熱唱し大いに盛り上がりました。後日、藤井君より常盤寮寮歌の歌詞と楽譜、mp3のデータがみんなに配信され、次回同窓会では山口大学学生歌とともに合唱できるよう練習しておくというノルマが課せられました。

翌日は希望者で東京見物。朝食のあと小田原からJRと地下鉄で浅草まで出て、浅草寺周辺を散策。昼食後、東京駅から「はとバス」のパノラマドライブで話題の豊洲と築地の新旧の市場などオリンピック準備中の東京の今をオープンバスの上から眺めて散会しました。

次の節目の喜寿(77歳)では遠すぎると、また5年後の75歳でやろうということになりました。場所はみんなが出会った山口・平川に決定。健康を維持して湯田温泉での再会を誓い合いました。

